説明書 No.SJF-どでかファン 1109

Suiden

大型キャスター送排風機≪軸流型≫

どでかファン

SJF-600A-3
SJF-700A-3

取扱説明書

もくじ

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈Suidenスイデン〉製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。

日本国内200V専用（交流200V以外の電源では使用できません）

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠警告・⚠注意の2つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		
		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図は感電注意）
		⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描いているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図はアースを接地する）

●製品仕様への注意事項

⚠ 注 意

決められた製品仕様以外で使用しない。
＊漏電・感電・火災などの原因になります。

●搬入・移動上の注意事項

⚠ 注 意

搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず、膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。
搬入・移動に際に、本体を吊るときは必ず本体の吊り金具部２か所で吊る。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	搬入・移動が終了したら、必ずキャスターのブレーキを確実にかける。 ＊運転時の風圧、床の傾斜などにより本体が動き出し、ケガや事故の原因になります。

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 警 告

酸欠防止用機器として使用する場合は、作業者１人当たり１分間に10m³/min以上の空気量を確保できる機種を選択する。
また、空気（酸素）を消費する機器を使用中は、その機器の消費量も考慮した酸欠防止策を考慮する。
＊空気量が少ないと、死亡事故や重大な障害、機器の破損につながる恐れがあります。

アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛や化学物質などの爆発性粉じん・ガス・蒸気などを吸わせない。また、近くや雰囲気内で使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。	灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。

⚠ 警　告

本機を運転する際は、キャスターブレーキを必ずかける。
＊運転時の風圧で本機が動くのを防止するため、キャスターブレーキを必ずかけてください。さらに車輪止めをするとより安全です。

動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源を元から切り、お買い上げの販売店に必ず点検修理を依頼する。
＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

定格電圧（200V±10%）で使用する。
＊感電やショートして発火の原因になります。規定の電圧以外の電圧をかけないでください。発電機で使用するときも、定格電圧

内で使用してください。

アースを接地する。特に、床に水気のある所では、必ずアースを接地する。
＊アースがないと、感電の危険があります。

漏電ブレーカー（別売市販品）を使用し、アースを確実に取付ける。
＊故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

濡れた手で、差込みプラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。
＊感電やケガの恐れがあります。

他の電気器具とコンセントを併用する場合は、コンセント定格を超えないようにする。
＊分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。

本体内を、グラインダー・溶接機などから発生する火花を含む空気、４０℃を超える空気などを通過させない。
＊火災の原因になります。

セメント粉・合成樹脂・トナー・金属粉・カーボンなどを含んだ空気を吸わせない。
＊感電やショートして発火することがあります。

ハネが回転中に、保護ガードに指や髪の毛を差込まない。
＊回転中のハネで指が切断されたり、重大なケガになります。

ハネが回転中に、器物を差込んだり、当てたりしない。
＊差込んだものが壊れたり、ハネの変形などにより事故の原因になります。

保護ガードを外して使用しない。
＊ケガや故障の原因になります。

ハネが回転中に本機を移動させない。
＊ケガや故障の原因になります。

火のついたたばこの吸いがら、熱を持ったものなどは吸わせない。
＊爆発・火災の原因になります。

本機を移動させるときは、移動の前に必ず電源を切る。
＊衣類が巻き込まれたり、本体が暴走するなどして、ケガや事故の原因になります。

水・油などをかけない。
＊火災・感電・漏電の原因になります。

雨水のかかる場所で使用しない。
＊絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
＊感電やショートして発火することがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。
＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。
＊コードが発熱して火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。

延長コードは、適切なものを選んで使用する。
＊延長コードが容量不足な場合、発熱して火災の危険があります。

電源プラグにピンやごみを付着させない。
＊感電やショートして発火することがあります。

導電体（鉄、鋳物など）の粉じん発生場所では、必ず定期的に内部清掃を実施する。
＊感電やショートして発火することがあります。

電源コードに重い物をのせたり、挟み込まない。
＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。
＊プラグにほこりなどが溜まると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠ 警　告	
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。（直結の場合は元電源を切る） ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。

⚠ 注　意	
本体に異常な振動が発生した場合は、すぐに使用を中止し、本機の点検を行う。 ＊ハネや胴体の破損により、ケガをする恐れがあります。	配線工事が必要な場合は、電気設備基準や内線規定に従って安全確実に行う。 ＊接続不良や誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
粉じんが多い場所や、油煙が多い場所など、雰囲気の悪い場所で使用しない。 ＊モータ焼損の原因になります。	振動のある場所で使用しない。 ＊共振を起こし、ハネや保護ガードなどが壊れて事故の原因になります。
安定の悪い場所で使用しない。 ＊運転中に振動を起こし、ハネや保護ガードなどが壊れて事故の原因になります。	必ず水平に置いて使用する。 ＊本体を床面に対して垂直方向や、上下逆で使用すると、故障の原因になります。
温度の高い場所で使用しない。 ＊故障や火災の原因になります。 使用雰囲気温度範囲は、0℃～40℃です。	湿度の多い場所で使用しない。 ＊故障、感電、火災の原因になります。 雰囲気湿度８０％以下でご使用ください。
腐食性ガスの発生する場所で使用しない。 ＊腐食による破損を原因とした事故の恐れがあります。	本機の吸気方向直前や排気方向直後に、障害物を置かない。 ＊過熱による火災の原因になります。
モータ単体では使用しない。 ＊本機のモータは、ハネの回転によりモータ温度の上昇を抑えています。 モータ単体での使用は、モータが過熱状態になり、火災やモータ焼損の原因になります。	モータを逆回転で使用しない。 ＊モータ焼損などの原因になります。 排気口をふさがない。 ＊火災の原因になります。
吸気側や排気側にフィルターを取付けない。 ＊過熱による火災の原因になります。	吸気口をふさいで長時間運転しない。 ＊過熱による火災の原因になります。
火気に近づけない。 ＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。	ハネに、ほこりや油などが付着したら取除く。 ＊振動による事故の原因になります。
送風角度を変えるときは、必ず電源を切り、ハネの回転が止まってから行う。 ＊ケガをする恐れがあります。	送風角度を変えるときは、必ずケーシングを支えながら角度調節レバーをゆるめる。 ＊ケーシングが急に傾いてケガをする恐れがあります。

●保守・点検の際の注意事項

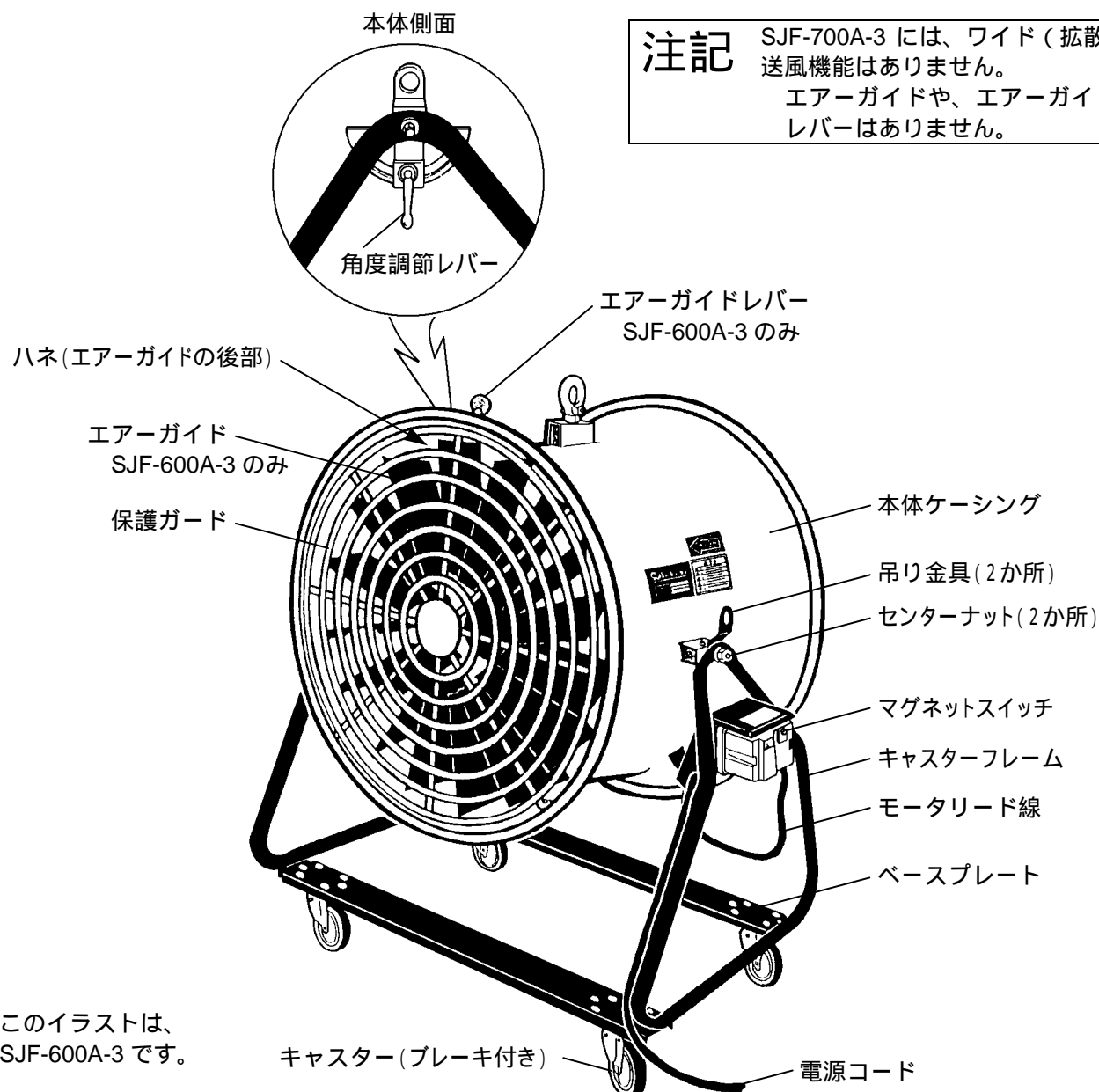
⚠ 注　意	
修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 ＊発火したり異常動作をすることがあります。	保守点検や清掃の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き（電源直結の場合は元電源を切り）、ハネの回転が完全に止まってから行う。 ＊感電やケガをする恐れがあります。

2 仕様

品番	電源	ハネ		モータ		風量 (50/60Hz)	質量	保護装置
		外径	翼数	出力	極数			
SJF-600A-3	3相200V	600mm	9枚	1.5kW	4P	480/550m^3/min	79kg	マグネットスイッチ(サーマル付き)
SJF-700A-3	3相200V	710mm	6枚	2.2kW	4P	740/930m^3/min	113kg	マグネットスイッチ(サーマル付き)

※過負荷(オーバーロード)からモータを保護する安全装置付き。
※保護装置のサーマル設定値は、SJF-600A-3…6.5A、SJF-700A-3…11A。
※電源コード10m付き。電源プラグは付いていません。使用のコンセントに適合するプラグをご用意ください。
※風量は、JIS C 9601 扇風機の風量測定方法により測定した値。

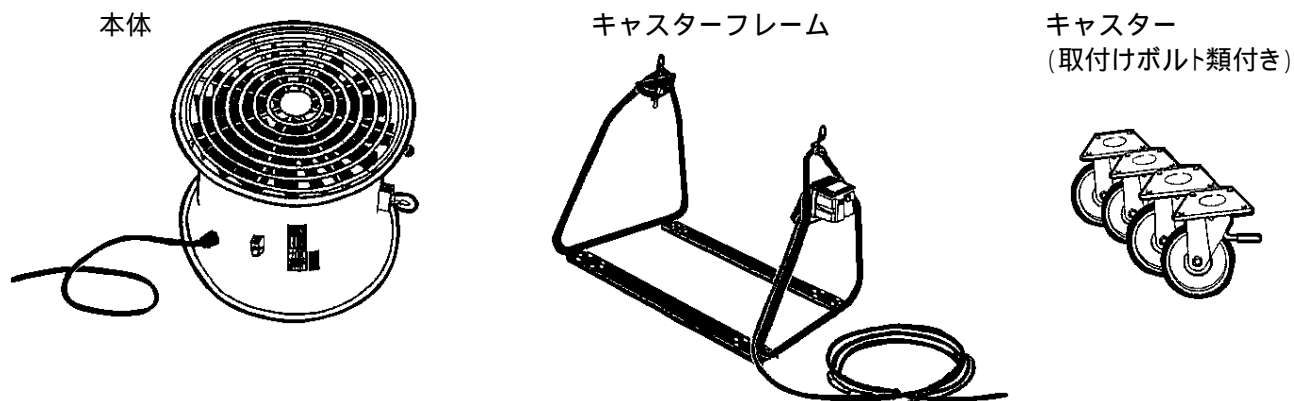
3 各部の名称

※このイラストは、
SJF-600A-3 です。

4 組み立て方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

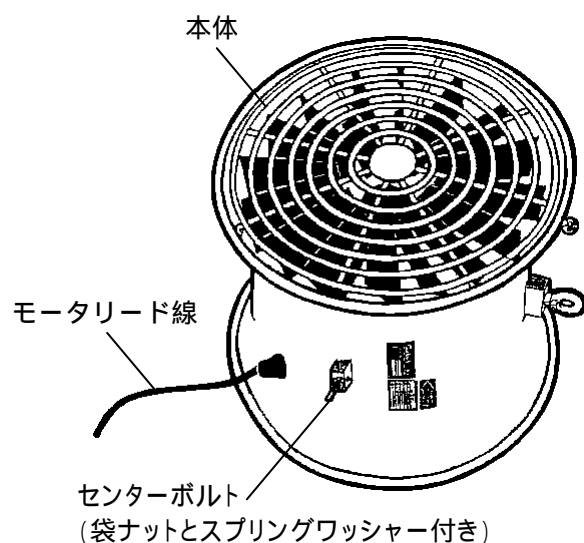
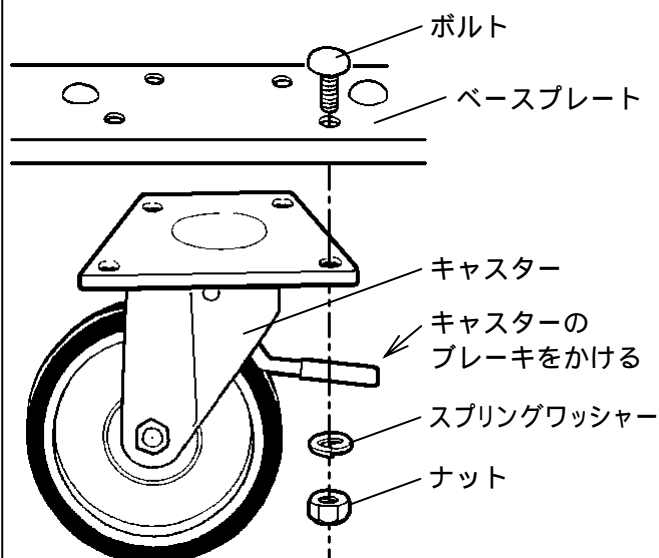
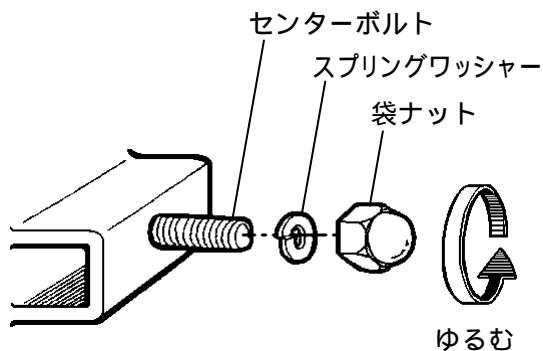
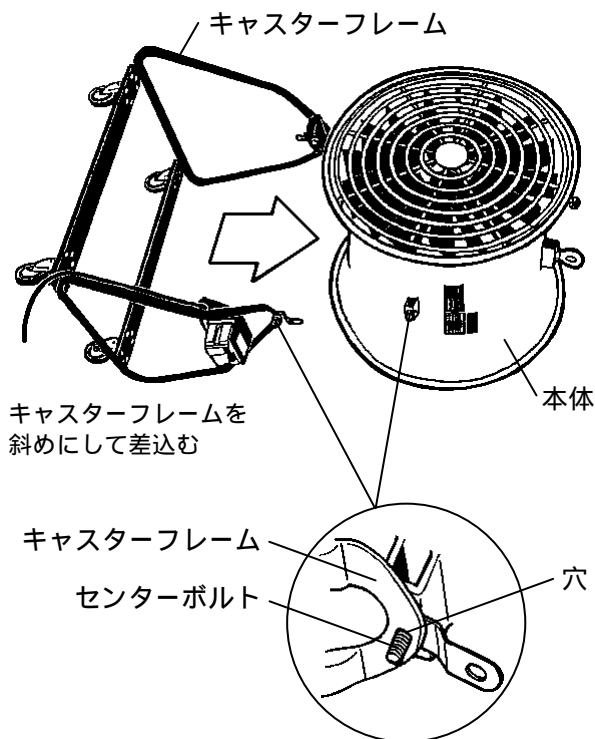
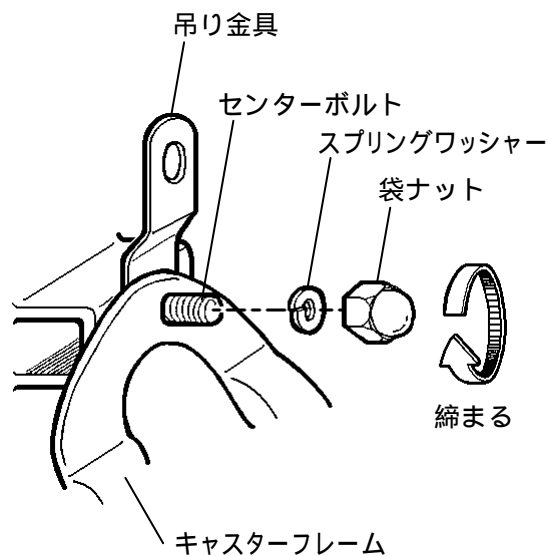
1. 梱包ケース内のパーツの確認

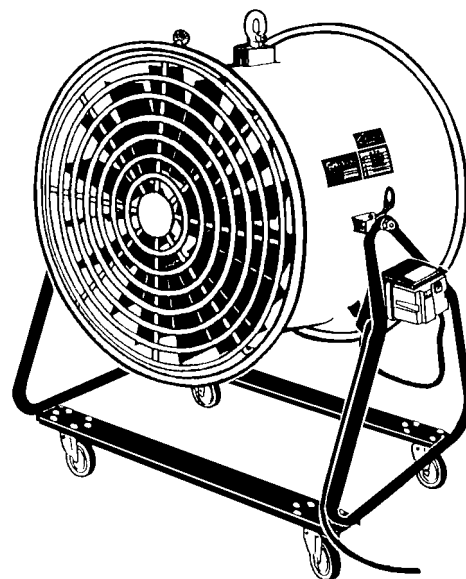
●本体

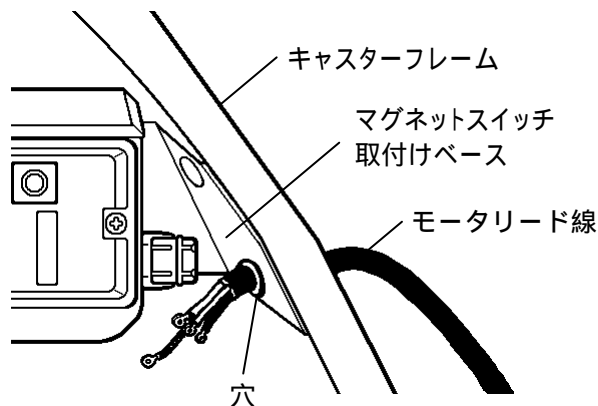
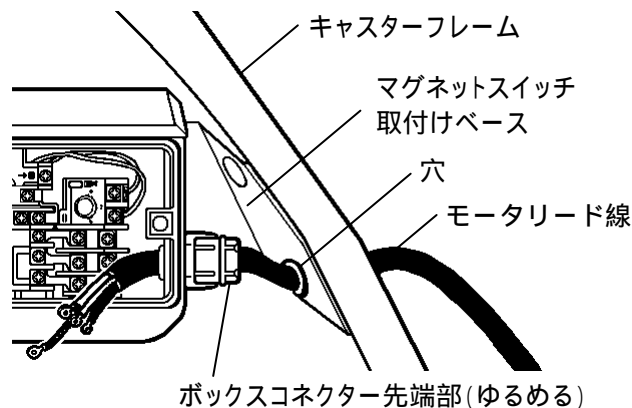
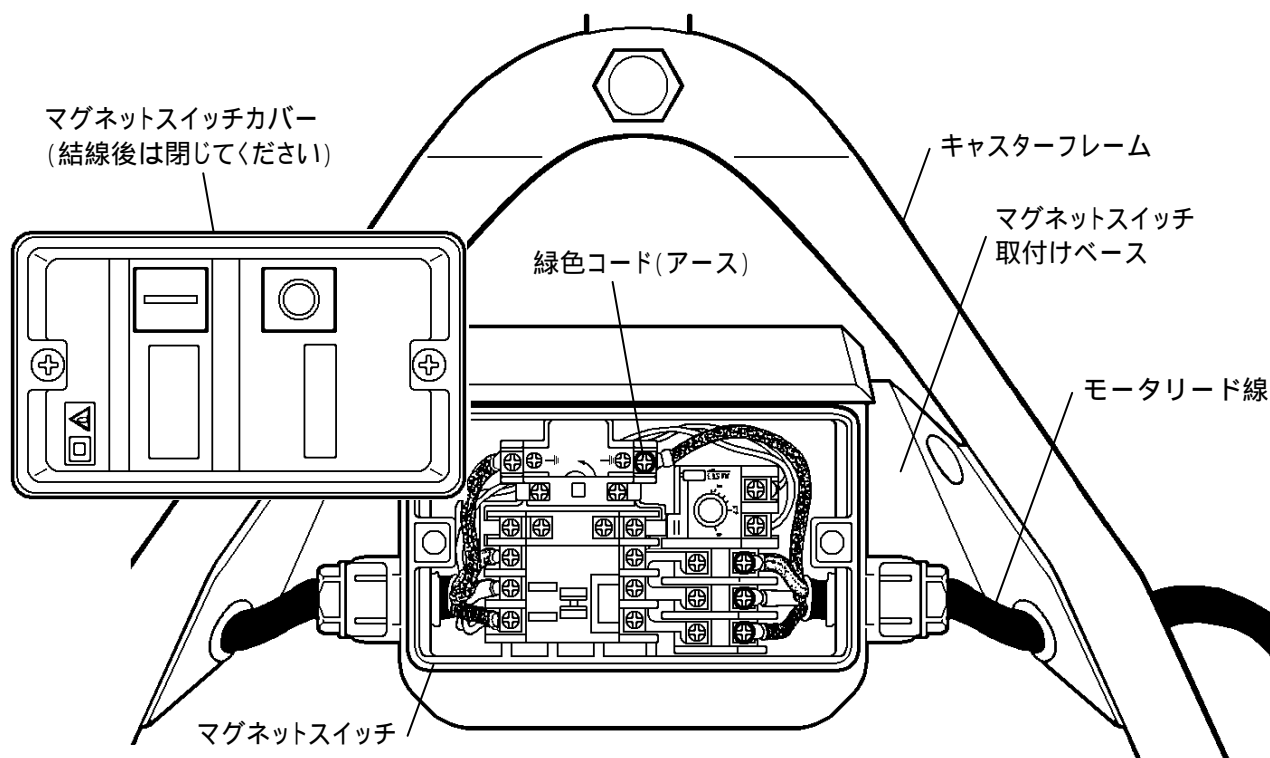
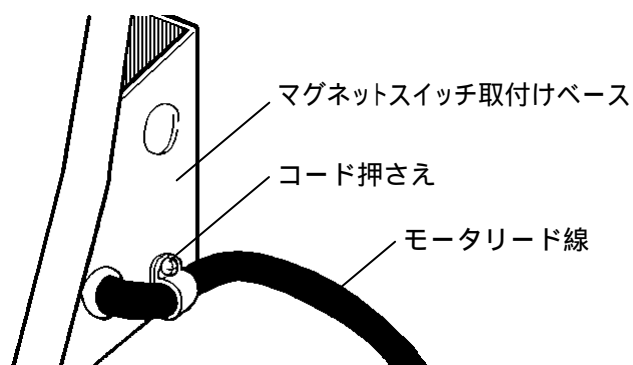
●キャスターフレーム

●キャスター
（取付けボルト類付き）

2. 組み立て

⚠ 警 告	
作業は複数人員またはクレーンなどを利用して行う。 **＊本機質量を確認し、無理な作業はしないでください。ケガや事故の原因になります。**	**本機の姿勢を変えるときは、車輪止めなどの処置を行い、事故防止策を実施する。** **＊床の傾斜や外力などによって本機が動きだし、ケガや事故の原因になります。**
キャスター取付けは、必ずキャスターのブレーキをかけた状態で行う。 **（ブレーキのかけかたは 9 ページ参照）** **＊床の傾斜や外力などによって本機が動きだし、ケガや事故の原因になります。**	**角度調節レバーを確実に締める。** **（角度調節レバーの操作は 9 ページ参照）** **＊本機ケーシング部分が不用意に動かないように組み立ててください。ケガや事故の原因になります。**

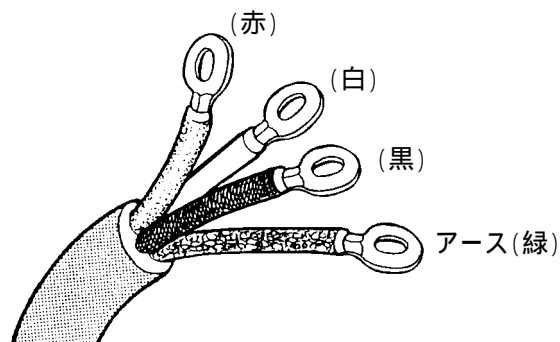
① **本体を床に置いてください。**

② **キャスターフレームのベースプレートにキャスター（4個）を取付けてください。**

③　本体の両サイド（２か所）のセンターボルトに付属の、袋ナットとスプリングワッシャーを外します。

④　キャスターフレームを、本体の横から差込むようにして、センターボルトをキャスターフレームの穴に合わせて差込みます。
※キャスターフレームを少し広げるとセンターボルトの穴に差込めます。

⑤　キャスターフレームを差込んだセンターボルトに、③で外したスプリングワッシャーと袋ナットをセットして確実に締付けます。

⑥　組み立てた本機を正常運転姿勢に起こします。
※重いので、ケガや事故防止対策を充分してください。

正常運転姿勢

3. マグネットスイッチへの結線

① 本体ケーシングから出ているモータリード線をキャスターフレームのマグネットスイッチ取付けベースの穴に通します。

② マグネットスイッチのカバーを開いて、ボックスコネクター先端部を回してゆるめてから、モータリード線を、マグネットスイッチの内部に引き込みます。

③ ドライバーでマグネットスイッチの端子ネジをゆるめてモータリード線の丸端子を差込み、再び端子ネジを確実に締めてください。各線の結線端子は、下図の通りです。

④ おわりに、マグネットスイッチ取付けベースのコード押さえを取外してから、モータリード線を挟み込み、再び元の位置に取付けてください。コード押さえの取付け方向は、送風角度を調整した際のモータリード線の動きが自然な方向を選んでください。

5 電源への接続

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

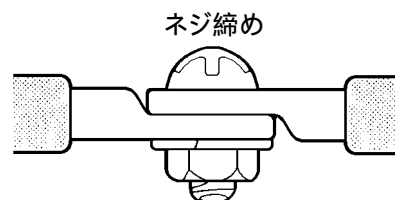
(1) 使用電源に合ったプラグを用意する

本機には、差込みプラグは付属していません。
使用電源に合った３Ｐアース端子付きプラグを電源コードに接続してください。

(2) 接続方法

① 電源コードと延長コードの接続や、その他の分岐点の接続は、圧着端子ネジ締めで接続してください。

本体リード線にはメガネ端子を装着していますので、ご利用ください。

② 絶縁テープで被覆してください。

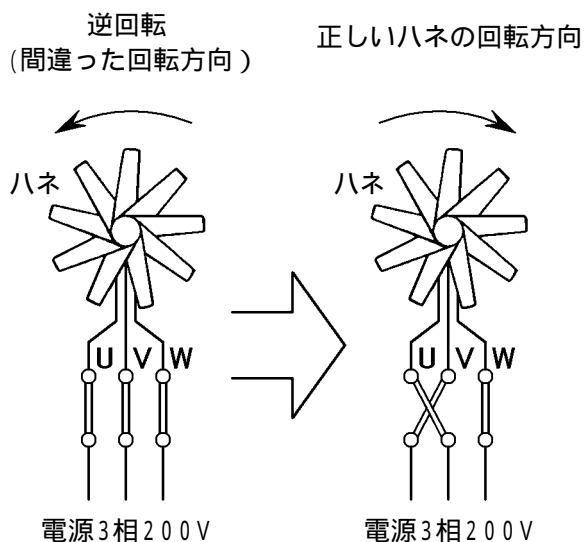
※アースも必ず接続してください。

(3) モータ回転方向を確認する

① 電源接続後に、モータ回転方向を確認してください。
モータ回転方向の確認は、ハネの回転方向で確認します。

② 本体に貼り付けてある「ハネ回転方向表示シール」の矢印の向きに回転していれば、正回転です。

③ 逆回転しているときは、３相電源（アース線除く）の３本線のうち２本を入れ替えると正回転になります。

※モータの回転方向は、ハネ側から見て右回転（時計回転方向）です。
モータ側から見ると、左回転（反時計回転方向）です。

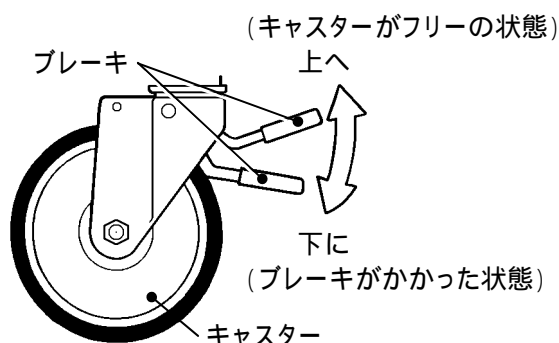
★逆回転しているときは、電源の３本線の内の２本を入れ替える

6 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

⚠ 注　意

①移動するときや、風の角度を調節するとき、メンテナンスをするときは、必ず電源を切る。
＊感電事故やケガの危険があります。

②移動するとき以外は、必ずキャスターのブレーキを４輪とも確実にかける。
＊運転時の風圧で本体が暴走したり、床面の傾斜により本体が動き、ケガや事故の危険があります。（運転時や保管時は、キャスターに車輪止めをかけることをお勧めします）

③本体は、傾斜のない水平な所に置き、キャスターのブレーキを必ずかける。
＊本体が動きだし、事故の危険性があります。移動時以外は、キャスターのブレーキを４輪とも確実にかけてください。

1. 送風の方向と角度

(1)送風方向

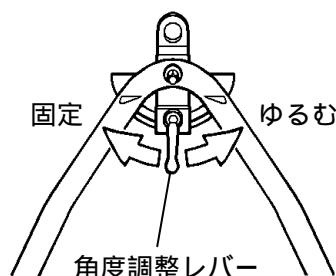
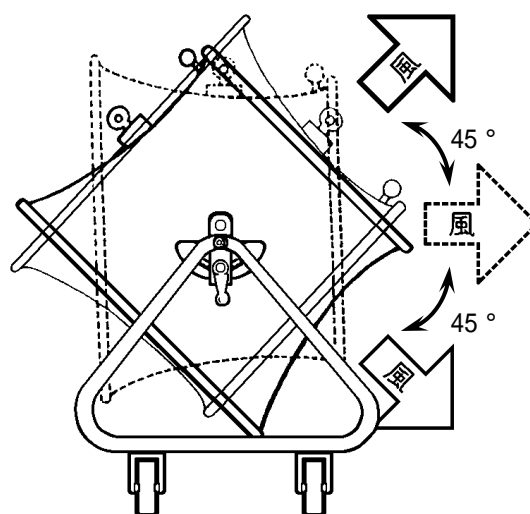
本体ボディに貼付の「送風方向」表示の矢印が送風の方向です。
用途に合わせて本体の向きを決めてください。

(2)送風角度の調節

角度調節は、本体側面の角度調節レバーで行います。

① 角度調節レバーを左（反時計回転方向）にゆっくり回してゆるめ、本体の送風角度を希望の角度に調節します。

② 調節が終わりましたら、角度調節レバーを右（時計回転方向）に回して確実に固定してください。

角度調整レバーの操作

送風角度の範囲

2. ストレート送風とワイド（拡散）送風　≪エアーガイドの調節≫

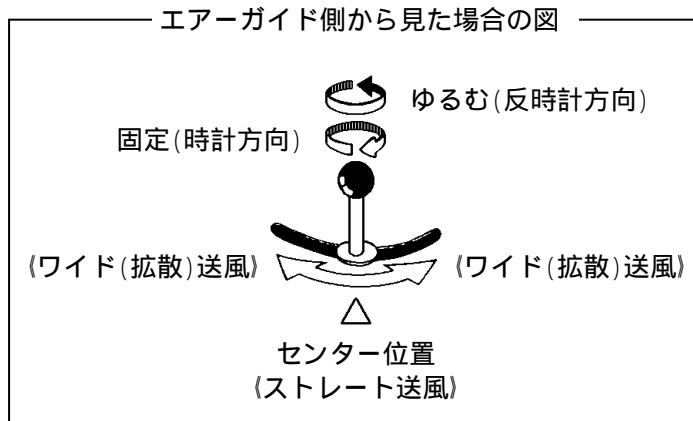
※SJF-600A-3 **のみ。**SJF-700A-3 **に、この機能はありません。**

① 風を遠くまで届かせる≪ストレート送風≫と、風を幅広く送風する≪ワイド（拡散）送風≫は、本体送風側（風の出口側）にあるエアーガイドで調節します。

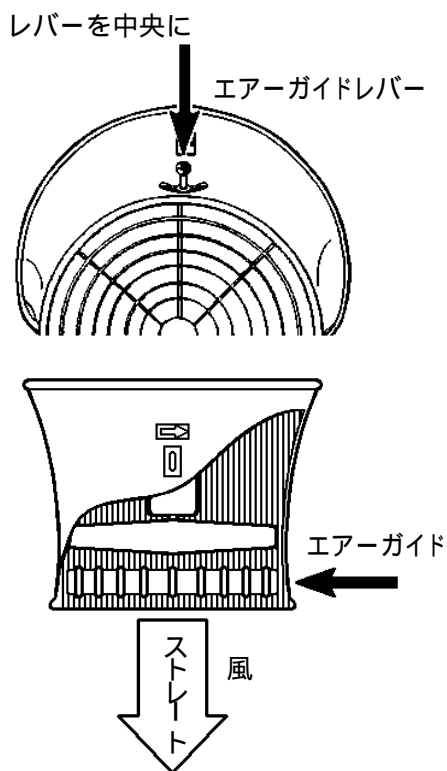
② まず、本体上部のエアーガイドレバーを左（反時計方向）に回して、エアーガイドレバーをゆるめます。

③ 右の図のように、エアーガイドレバーを中央にすると≪ストレート送風≫に、右か左に寄せると≪ワイド送風≫になります。送風の種類を選択してください。

④ エアーガイドレバーを右（時計方向）に回して、エアーガイドレバーを固定します。

⑤ このとき、エアーガイドの向きは下図の（A）（B）のようになります。

（A）遠くへ送風 ストレート送風

遠くまで送風したいときは、本体上部のエアーガイドレバーを中央にして、エアーガイドを本体に貼付の送風方向シールの矢印と同じ向きに調節します。

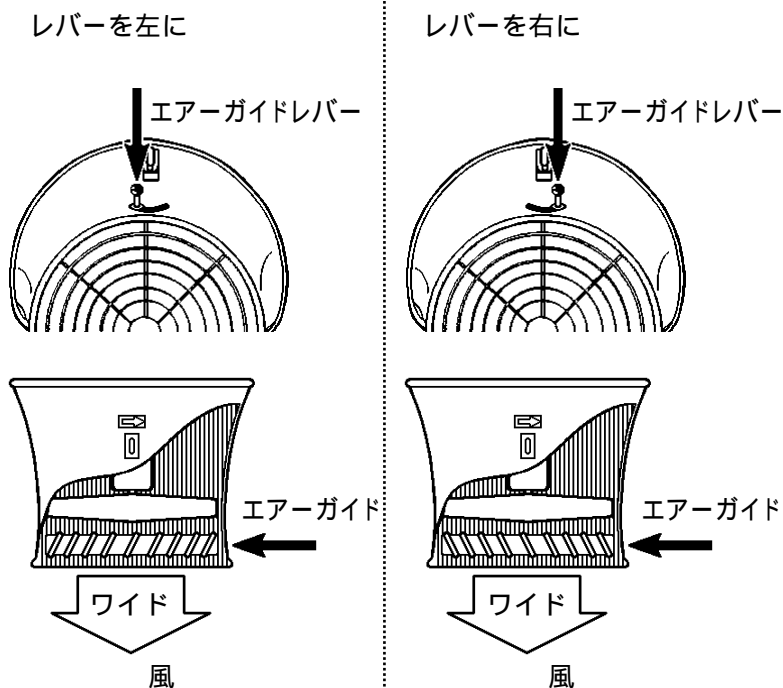
レバーを中央に

●エアーガイドレバーは中央
●エアーガイドは送風方向と同じ向き

（B）幅広く送風 ワイド送風

幅広く送風したいときは、本体上部のエアーガイドレバーを左右どちらかにして、エアーガイドを本体貼付の送風方向シールに対して斜めになるように調節します。

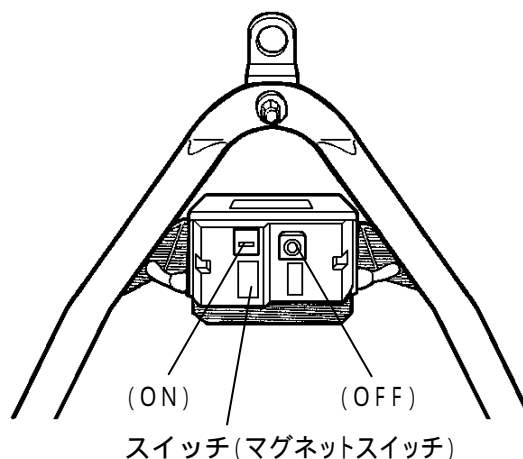
レバーを左に

●エアーガイドレバーは左
●エアーガイドは斜め向き

レバーを右に

●エアーガイドレバーは右
●エアーガイドは斜め向き

3．スイッチ

スイッチ（マグネットスイッチ）は、本体側面にあります。
Ｉ(ON)，O(OFF)スイッチで、「運転⇔停止」が出来ます。

本体を移動するときや、送風の方向・角度を変えるときなど、
本体を動かす必要のある場合は、必ずスイッチを切ってから
行ってください。

4．使用後は

本体のスイッチを切ってから、電源プラグをコンセントから抜きます。
※電源直結の場合は、元電源を切ってください。

7 安全装置について

⚠ 注 意	
	漏電事故防止は、「アースがされていること」と「漏電ブレーカー」の両方が揃って、初めて可能です。 漏電事故防止のため、必ず漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。 ＊漏電による感電·火災·事故の原因になります。

(1) マグネットスイッチ（サーマル付き）について

モータに過負荷状態が発生した場合、自動的に電源を切り、モータ焼損を防止します。

(2) 作動したときの処置方法

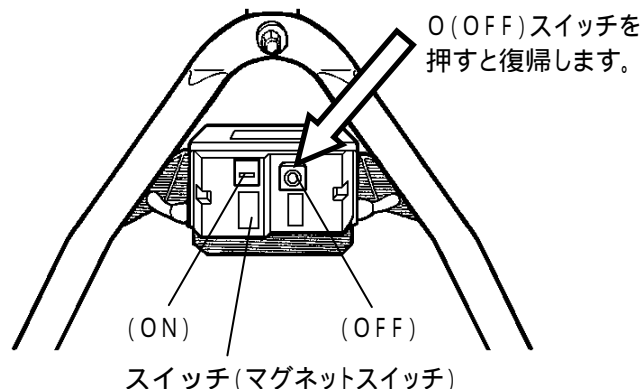
サーマルが作動したときは、まず電源プラグを電源から抜き（電源直結の場合は、元電源を切り）、
必ず原因を取除いてください。

●作動する原因として考えられること
①ゴミがハネに付着している　②欠相運転　③電圧が間違っている…など

(3) 復帰方法

① サーマルが作動した原因を取除いてください。

② 電源プラグをコンセントに差込み（直結の場合は、元電源を入れて）、O(OFF)スイッチを押してください。※右図参照

③ 処置後も運転できない場合は、危険ですのでむやみに分解せず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

注記	サーマルが働いた原因を取除かないまま電源を入れると、再びサーマルが働き、モータに悪影響を及ぼしますのでご注意ください。

8 お手入れ

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

⚠ 注 意

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ハネの回転が完全に止まってから行う。 **＊感電やケガをする恐れがあります。**	**掃除の際は、本機の各部を傷つけない。** **ベンジン、シンナーなどは使用しない。** **＊劣化による腐食などの原因になります。**

① 長時間使用すると、ほこりやゴミなどがハネに付着し、ハネのバランスが狂って、モータ焼損の原因になります。ハネに異物が付着しやすい使用環境では、前後のガードを外して常に点検・清掃し、ハネに付着物がない状態でご使用ください。

② 点検・清掃を行ってもモータの異音や、ハネのアンバランスが生じる場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

③ 安全な取扱いを行うため、シールが汚れていたり、剥離した場合は、新たにシールを貼替えてください。

≪主銘板サイド警告シール≫

スイッチ天面≪警告表示シール≫

≪「送風方向」表示矢印シール≫

≪「回転方向」表示シール≫

≪キャスターブレーキ警告表示シール≫
※このシールは、SJF-700A-3のみ、本体ケーシングに貼付しています。

9 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

ご確認ください		
症　　状	調べるところ	直　し　方
始動しない	電源が供給されていますか？(停電など)	電力会社や、電気工事店に連絡し、対処してください。
	電圧が降下していませんか？	電源コード、または配線が断線していないか、または接続に不良がないか確かめてください。
	電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。
	電源プラグおよびコンセントの接触不良ではありませんか？	新しいものに交換してください。
	欠相運転になっていませんか？	電源コードおよび電源プラグの接続部に、ガタ・ゆるみがないか調べてください。
運転中に停止する（サーマルが作動する）	電圧が低下していませんか？	延長コードを使用している場合は、短くするか、または太いコードに交換してください。
	本機の吸気、または排気の直後に障害物がありませんか？	障害物を取除いてください。
	ハネに異物の噛み込みや亀裂などの損傷がありませんか？	異物を取除き、新しいハネに交換してください。
	ゴミなどがハネに付着していませんか？	ハネの付着物を取除き、動作を確認してください。
異音が発生する	安定の悪い場所に設置していませんか？	安定の良いところに設置してください。

■上記処置をしても症状が改善しない場合は、使用を中止し、電源を切って、お買い上げの販売店またはスイデン・サービスショップ、最寄りのスイデン支店・営業所へご相談ください。
その際は、故障内容と共に、銘板に記載している機種名をご連絡ください。

10 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

点検項目	処　　置
電源（延長）コードは、傷んだり変形していませんか？	新しい電源（延長）コードに交換してください。
差込みプラグは、変形やガタがありませんか？	新しいプラグに交換してください。
ハネやガードにゴミ・異物が付着していませんか？	ゴミ・異物を取除いて、中性洗剤の薄め液などを使用し、ハネと本体を清掃してください。
ハネに亀裂は入っていませんか？	すぐに新しいハネに交換してください。
ハネのバランスは狂っていませんか？	
年に１回程度、モータの絶縁抵抗を検査してください。 規格は１メガオームですが、実際には最低１０メガオーム程度に抑えておくほうが無難です。	

★モータは、密閉型ボールベアリングを採用していますので、注油の必要はありません。

11 アフターサービスと保証について

⚠ 注　意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後６年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より１年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。　お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

★長年ご使用の送排風機の点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶	お願い 異常があればご使用を即、中止!!	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、または当社支店・営業所へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	
所在地	
ＴＥＬ	
ＦＡＸ	
お買い上げ年月日	年　月　日

株式会社スイデン
奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘 3-26
ホームページ　http://www.suiden.com

スイデン商品についてのお問い合わせは、
最寄りのスイデン支店・営業所へどうぞ！

東京支店	☎(03) 3625-9003
大阪支店	☎(06) 6772-2241
名古屋支店	☎(052) 882-3621
福岡支店	☎(092) 471-6201
仙台営業所	☎(022) 288-4777
北関東営業所	☎(0277) 76-1805
静岡営業所	☎(054) 237-5172
富山営業所	☎(076) 407-1801
広島営業所	☎(082) 292-6311
高松営業所	☎(087) 843-4896
お客様相談室	0120-285-240

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。